

津軽白神 ふれあい通信

津軽白神森林生態系
保全センター

平成27年2月27日発行 No.105



中村川で羽を休める水鳥

今年度第二回目の巡視員会議を開催しました



多くの巡視員の皆さんが参加されました

2月1日（日）西目屋村中央公民館で、今年度第二回目の巡視員会議を開催しました。

当日は朝から雪が降りしきるあいにくの天候でしたが、約60名の関係各機関及びその巡視員の方々や、報道各社の皆さんが参加されました。

会議では、はじめに関口計画部長より今年度の巡視に関する概要について説明があり、その後環境省、東北森林管理局、青森県や関係市町村など各機関からの事業に関する報告がありました。



質問に回答する関口計画保全部長

また、今回の巡視員会議では、一昨年から県内各地で定点カメラで撮影されたり、目撃情報が増えつつあるニホンジカについて議論されました。東北森林管理局によるセンサーカメラの設置状況や、環境省、青森県自然保護課によるニホンジカ対策に関する啓発活動への取組について報告がありました。

また、参加者の皆さんは巡視活動の現状や問題点などについて活発な討議を行いました。

当センターにおいても、今後は従来の巡視活動に加え、ニホンジカの監視についても強化に努めてまいります。



活発な討議が行われました

森林・林業技術交流発表会に参加しました



2月5日（木）東北森林管理局大会議室において、平成26年度の森林技術交流発表会が開催され、当センターと藤里森林生態系保全センターが合同で「白神山地世界自然遺産地域周辺におけるセンサーカメラによるニホンジカ監視について」発表を行いました。

近年全国的に被害が増加しているニホンジカですが、白神山地周辺でも目撃情報があったためセンサーカメラでの監視をしました。今回はその結果と今後の課題を発表しました。



今年度、当センターで設置したセンサーカメラにはニホンジカの姿は撮影されませんでした。ニホンザルや日本カモシカなど、数多くの野生生物が撮影されています。

東北森林管理局で設置したカメラは、いずれも世界遺産地域の外ですが多くの生物が確認できたということは、とりもなおさず白神山地では豊かな生態系が保

たれていることの裏付けとなります。

今回の発表では受賞には及びませんでした。今回の発表を契機に、また同じようなニホンジカ対策に関する研究を行っている他署等の事例を参考にしつつ、白神山地の貴重な生態系を保全するため、ニホンジカ監視の強化を図っていきたいと考えています。

青森市で活動展を開催しました

2月7日（土）から9日（月）青森市の沖館市民センターで今年度1回目の活動展を開催しました。

来場した方からは、写真がきれいだとか、写真の場所に是非行ってみたいという感想が聞かれました。

8日日曜日は、午後の時間帯に家族とともに訪れた子供達が来場し、木工品の製作に取り組みました。

スギのトレイと広葉樹のラックを作りましたが、子供達は木ねじのねじ込みに苦戦をしていました。

子供達は、作ったラックにさっそくゲームのソフトを置いたり、好みの本を置いたりと有効に活用しているとのことでした。

今年度の活動展は、今回の青森市に引き続き3月に





もつがる市のイオンモールつがる柏、2Fイオンホールで開催する予定です。

3月6日(金)から9日(月)までの予定ですので、お時間のある方は是非ご来場ください。

昨年採取した種子を確認しました

昨年9月、当センターが自然再生活動を行っている箇所の付近に、種子の採取の目的でリタートラップを設置しました。

自然再生活動のイベントの際、参加者の皆さんに確認をしていただきました。

このトラップにつきましては、降雪前にセンターに持ち帰り保管をしていましたが、先日トラップの内部を確認しました。

ブナの種子の採取を目的として設置しましたが、去年は凶作だったためか残念ながらブナの種子は見当たりませんでした。

しかし、カエデやミズナラ、サワグルミの種子に加え、今回はカツラの種子を大量に採取できました。

以下に採取した種子の写真(一部)を掲載いたします。



～職員のコラム～

白神山地に入っちゃだめよ！

自然再生指導官 三浦 利樹

一昨年の2月、青森県立美術館での活動展の会場だったと記憶しています。

60代くらいの女性二人組が展示のパネルをひとしきり見た後、そのうちのお一方が私に声をかけてきました。

「素晴らしいですね。絶対に（白神山地に）人を入れちゃだめよ！」

青森県側では、届け出をすれば遺産地域への入林も可能ですし、暗門の滝遊歩道などは遺産地域内になりますが、歩道上を散策する場合には届け出も不要です。

遺産地域への入林については、さまざまな意見があります。秋田県側は現在入林規制をしていますが、一定のルールの下に入林を認めても良いのではないかという動きも現れてきています。青森側の届け出制についても廃止しても良いのではという意見もあります。

もっとも、それらの取扱いについては現段階では意見がまとまらず、今のところ従来通り秋田県側では入山禁止、青森県側では届け出制という対応で落ち着いています。

「人を入れちゃだめよ！」の女性のように、一般の方々の自然に対する意識というものは、自然環境は厳正に保護しなければならない、となってしまうのでしょうか。

入山が禁止されている箇所にはもちろん入山できませんが、前述のとおり世界遺産地域であっても青森県側は届け出制で指定27ルートに限って入山できます。大切な事は、むやみに動植物を採取したり、ゴミを放置したりと、環境に対して負荷をかけないことです。

先の女性も、環境に負荷がかかるおそれがあるから人を入れちゃだめよ！という意味合いでの発言をされたのかどうかはわかりませんが…。

青森県内にも、白神山地をはじめ美しい自然がたくさんあります。雪が解けましたら皆さんどうぞ足をお運びください。

もちろんルール違反は、だめよ～！だめだめ！

活動展を開催します(イオンモールつがる柏)

当センターでは、下記により平成26年度の活動内容を皆様にお知らせする活動展を開催し、白神山地の自然、動植物のパネル、今年度実施したイベントの様子を展示いたします。

また、ぬり絵や木工教室、写真のプレゼントなども予定しております。

記

日時：平成27年3月6日（金）～9日（月）10時～17時30分

（6日は13時開場、9日は12時終了となります。）

場所：つがる市 イオンモールつがる柏 2階 イオンホール

津軽白神森林生態系保全センターホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/tugarusirakami/index.html>